

DF-10155-PD、DF-20155-PD、DF-24155-PD

このたびは、蛍光灯調光器 (FL コントルクス PD) をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
お求めの〈コントロールクス〉を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

お客様へ

- ・この安定器の取り付け工事は必ず電気工事に依頼してください。
- ・一般の方の工事は法で禁じられています。

工事店様へ

- ・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上の注意

商品及び取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

△ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、“使用者が死亡又は重傷を負う可能性のあること”を示します。



必ず最大負荷容量以下の台数でご使用ください。
異常発熱や火災の原因となります。
最大負荷容量はインバータ等の入口電流値の合計が 15 A 以下の台数にてご使用ください。
ただし、最大可能台数は 50 台までです。



適合専用器具をご使用ください。
(カタログ参照)
異常発熱や火災の原因となります。
位相制御式蛍光灯調光用器具、2 線式インバーター組込み器具、電球形蛍光灯器具等には使用できません。



電源電圧については、ご確認のうえでご使用ください。
異常発熱や火災の原因となります。



ランプ交換および保守点検のときには必ず電源を切ってください。
故障や感電の原因となります。



改造しないでください。
異常発熱や火災などの原因となります。



電源入力線及び負荷出力線は確実に接続してください。
異常発熱や火災の原因となります。
次のことを守ってください。
(1) 電線は、指定の電線を使用してください。
(2) 電線の被覆は、指定された皮むき方法(うら面参照)にむいてください。
(3) 電線を 1 本ずつ奥まで確実に差し込んでください。



誤結線や負荷の両端を短絡しないでください。
内部がこわれ、発火することがあります。

浴室など湿度が高いところに取付けないでください。



感電する恐れがあります。

0 ~ 35°C の周囲温度でご使用ください。



故障や火災の原因となります。
すぐ近くでストーブや電熱器をご使用にならないでください。

△ 注意

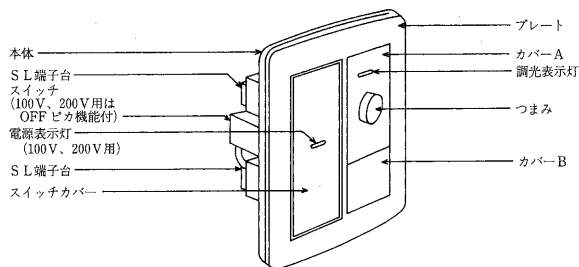
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、“使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害の発生の可能性のあること”を示します。

- ・電源入力線および負荷出力線は低圧屋内配線工事、調光信号出力線は弱電流配線工事が必要です。
- ・電源入力線および負荷出力線はφ 1.6 又はφ 2.0 の銅単線 (I V、V V F 線等) を、調光信号出力線はφ 0.8 ~ φ 1.0 の銅単線 (C P E V) 又は警報用電線、A E 線 (O P 線など) をご使用ください。
- ・調光信号出力線は総配線長で 100 m 以下 (コントロールクスと器具間 50 m 以下) としてください。
- ・コントロールクスのスイッチに取付けてある黒色の渡り線は絶対に取外さないでください。

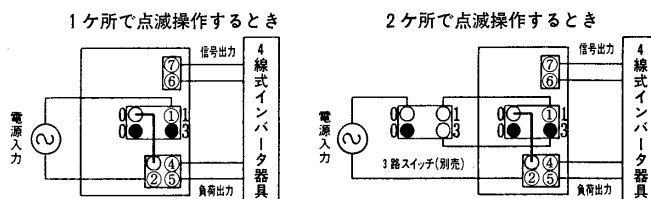
- ・調光範囲は器具の種類により決まりますので用途に合った器具を選択してください。
- ・旧形コントロールクスおよび D F - 10154、D F - 20154、一般安定器用コントロールクスとの互換性はありません。

うら面もお読みください

各部のなまえ

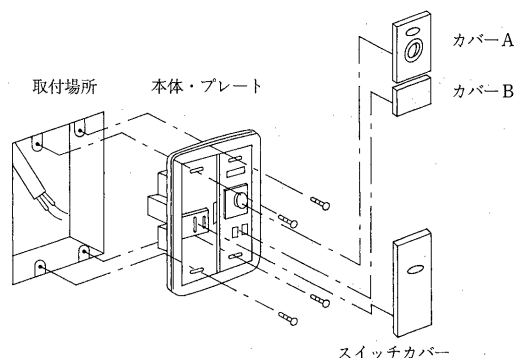


結線図



取り付けかた

- ①取り付け前にプレートより化粧板をはずしてください。
- ②電線を接続します。
 - 電源入力線、負荷出力線を被ふくをSL端子台のストリップゲージにあわせて14mmむいてください。
 - 信号出力線はコントロール銘板のストリップゲージにあわせて12mmむいてください。
 - 電源入力線、負荷出力線、信号出力線を間違わずに、芯線を実際に奥まで差し込んでください。
 - 電源入力線、負荷出力線はφ1.6又はφ2.0の銅単線（I V、V V F等）をご使用ください。
 - 信号出力線はφ0.8～φ1.0の銅単線（C P E V）又は警報用電線、A E線（O P線等）をご使用ください。ただし、シールド線のアース処理は必要ありません。
- ③右図に示す順序で取り付けます。



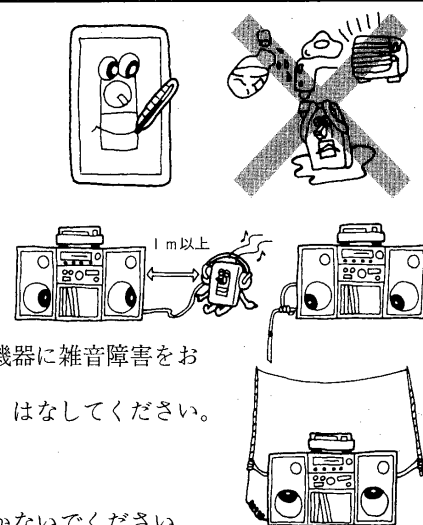
調光操作について

- ①スイッチカバーの右側を押すと、ランプが点灯します。（この時電源表示灯が消え、調光表示灯が点灯します。）
 - ②つまみを時計方向に回すと明るくなり、反時計方向に回すと暗くなります。
 - ③スイッチカバーの左側を押すと、消灯となります。（この時電源表示灯が点灯します。）
- 注）電源表示灯は100V用、200V用の機能です。242V用には電源表示灯はありません。



使用上のご注意

- ①このコントロールは、屋内専用です。0～35℃の範囲内で使用するよう設計されています。つぎの場所には取り付けしないでください。
 - 性能が低下するばかりでなく故障のもとになります。
 - ストーブなどの暖房器具の真上やその付近。
 - 浴室など、とくに湿度の高いところ。
 - 有毒ガスや、ほこりが特に多いところ。
 - 水や薬品がかかるおそれがあるところ。
- ②ご使用中、わずかなうなり音が発生したり、つまみやプレートが当たったりしますが、異常ではありません。
- ③消灯するときは、コントロールのスイッチカバー又は3路スイッチ（2ヶ所点滅のとき）にて消灯してください。
- ④ランプを交換するときは、必ず電源を切ってください。
- ⑤このコントロールは雑音防止設計になっていますが、ラジオやステレオなどの音響機器に雑音障害をおよぼす場合があります。そのときは、つぎのような対策をしてください。
 - 〈コントロール〉と音響機器およびアンテナ、アース線はできるだけ（1m以上）はなしてください。
 - 音響機器にアースを取り付けてください。
 - 有効なアンテナを張ってください。
- ⑥プレートやつまみが汚れたときは、やわらかい布でふいてください。器具をいためますのでガソリン・シンナー・ベンジン・アルコールなどの薬品でふかないでください。



修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってお買いあげの販売店（工事店）またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは器具の形名および、お買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

仕様

仕 様	DF-10155PD	DF-20155PD	DF-24155PD
電 源 電 圧	100V	200V	242V
周 波 数	50/60Hz		
負 荷 容 量	蛍光灯15Aまで		
適合インバータ (器具)	4線式調光形電子安定器 (カタログ参照) インバータD 4 H f インバータD、H f インバータE		
調光制御可能台数	インバータの入力電流値の合計が15A以下までの台数までです ON-OFFをコントロールのスイッチで行わない場合の最大 調光制御可能台数は50台です。		
周 囲 温 度	0 ~ 35℃		
重 量	約370 g		
色	ホワイト		
※適合インバータの形名は予告なく変わることがあります。			